

平成 29 年 8 月 22 日実施

「親子でお片づけ講座」の様子

講師：井上 知恵子さん（親・子の片づけマスターインストラクター）



【子ども向けのおはなし】

★「おかたづけ」をすると、どんないいことがあるかな？

さがしものがへる！

わずれものがへる！

すぐにつかえる！ など

そう、「おかたづけ」は、じぶんが暮らしやすく、困らないように、「じぶん」のためにやることだね。お母さんやお父さんに怒られるからやることじゃないよね。

★「おかたづけ」とは？

使ったものを、元の場所へ戻すこと！毎日、がんばろう！

★お道具箱を使って、「おかたづけ」の練習をしよう！

各自、持ってきたお道具箱の中身を全部出して、そこから先生のアドバイスを聞きながら、「おかたづけ」の練習をしました。

【大人向けのお話】

<片づけが育む3つの力のお話>

選択力・想像力・習慣力といった、「生きる力」を育むことができます！

子育てのゴールは、「独り立ち」ができることだと思っています。

<整理収納のプロセスのお話>

★みなさん、片づけるために最初にするのは、「整理＝必要なものを選ぶ・分ける」です。これをしないで、急に見ただけをきれいにしようとしても、うまくいきません。整理をした後で、「収納＝使いやすく配置する」してから、見た目をきれいにすることを考えましょう。

<子どもが自分で片づけられる仕組みづくりのお話>

★子どもが片づけられないのは、仕組みが悪いのかもしれませんが、自分で片づけられる仕組みを作ってあげることが大切です。次のことなどに注意して、それぞれのお家に合わせた工夫をしてみてくださいね。

★簡単な方法で！～置くだけ・入れるだけ・掛けるだけ

☆子どもが毎日無理なくできるように、手間がかからない工夫をする。子どもの様子をよく見て、その子にぴったりの仕組みを考えてみましょう。

☆例えば、上着をハンガーにかけるのが難しそうなら、フックを取り付けて、かけるだけにする。ランドセルを収納する場所が狭くて、置くのに苦労しているようなら、棚の上にぼんと置くだけにする。など。

★ひと目で分かる工夫

文字・イラスト・写真・色分けなどで、どこに何を片づけるか、子どもにも分かりやすい工夫を。

<保護者のかかわり方のお話>

★親が片づけてしまうのはNG!

子どもが一人でできるように、仕組みづくりの工夫をしましょう。

★完璧を求めない！できたときこそほめよう！

子どもが「片づけた」と言っても、親から見たらぐちゃぐちゃなこともあります。でも、結果はどうあれ、「片づけた」ことは認めるなど、ハードルを下げて褒めてあげましょう。

「仕組み」と「かかわり方」で子どもは変わります。「自分でできた！」を増やして、子どもの「生きる力」を育みましょう☆

♡アンケートより♡

<おとな>

- ・片づけだけのお話かと思っていたのですが、親のかかわり方などの話もあって、今まで間違っていたことを押しつけていたと反省しました。今日の講座を聞いて実践してみようと思いました。
- ・家に帰ったら、自分で片づけられる仕組みを作ってあげたいと思いました。
- ・自宅での片づけ方の詳しいやり方を画像つきで説明してもらいよく分かった。
- ・できていることを当たり前と思わず、ぐちゃぐちゃだけど片づいてる、認めて褒めてあげる、親の経験だけの見方ではだめ。
- ・子どもにガミガミ怒らず子どもも自分も気持ちよく片づけして、すっきりできる方法を教えて頂き、とてもやる気になりました。さっそく家で試したいと思います。
- ・まず、自分で片付けられる環境、仕組み作りが必要だということがわかりました。

<こども>

- ・おかたづけのやりかたがわかったから、これからかたづけができると思います。
- ・ちゃんとせいいとんとなくし物をなくそうと思います。

